

家族で英語を学ぼう！



英語学習に役立つヒント



U



H
N

英語学習の時間

幼い子どもたちは、大人とは違った方法で英語を吸収します。子どもたちが生まれながらに、様々な学習活動を通して英語を理解する能力を持っています。つまり、子どもたちは学習活動の最中に今自分が何をしているのかを理解し、大人が使う言葉を解釈できるのです。

詳しくは、ブリティッシュ・カウンシルのブックレット「幼い子どもたちのための異言語としての英語学習法」をご覧ください。インターネットの[Learn English Kids](#) ウェブサイトのparentsのページから、ブックレットをダウンロード出来ます。

計画的な学習

定期的な学習時間を設けましょう。そして、

- 自宅で、
- 決まった曜日に、
- 子どもの英語力の進歩や集中力に合わせて、約10分から20分間、
- 過去に学習した内容をおさらいし、新しい学習内容を始められるように、計画を立てましょう。

単発的な学習

もっと簡単に学習する方法もあります。

- 車の中やお風呂の時間、スーパーでレジに並んでいるときなど、好きな場所で、
- 好きな時間に、
- その日の気分や状況に応じて、学習時間を設けてみましょう。

子どもの英語力が伸びるにつれて、単発的な英語学習の回数は増えていきます。英語がわかるようになってくれば、日本語での会話に英語のフレーズを取り入れるとよいでしょう。





英語学習の計画を立てる

学習内容は、毎回同じような構成でなくてはなりません。次に何をするのかわかっているならば、子どもたちのストレスは減り、英語を理解することに全力を注げるからです。

基本的な学習内容

- **頭のウォーミングアップとして** – 童謡 (rhyme) や数のカウント、または歌を歌いましょう。こうして英語を聞くことと、違う発音を発声することに慣れさせます。
- **新しい単語の学習** – 前に学習した単語をもう一度おさらいし、そのあと新しい単語を教えます。
- **アクティビティの時間** – ゲーム、図画工作、家族とのアクティビティ。
- **最後に** – 絵本の読み聞かせをします。
- **おまけに** – 英語教材などを置いている場所 (英語コーナー) に、絵を飾ったりします。
- **家族と一緒に** – 時間がある場合でよいですが、家族に子どもが作った作品を見せたり、新しい歌を歌ったり、覚えた童謡を披露したり、一緒にゲームをしたりします。



新しい教材やゲームを取り入れる

教材は使い方次第です。教材を選んだら、子どものニーズと興味に合わせ、自分流に使い方を変えてみましょう。そうすれば、子どもは英語を吸収しやすくなります。

自分で作った教材や、市販の教材に少し変更を加えた方が、それぞれの子の英語力に合ったものとなるので、特に学習初期の段階では効果的です。自宅で子どもと一緒に教材を作ると、思い入れが深くなり、達成感も得られます。

記録

学習の記録を書き留めておきましょう。今までにしたことや次回の予定がすぐにわかりますし、一定の期間内の学習内容を評価することもできます。

途中であきらめない

子どもが「難しすぎるからやりたくない」と言いだしても、そこであきらめて日本語をしゃべってはいけません。黙って、以前子どもが気に入っていた簡単なゲームなどを始めます。ゲームを盛り上げ、できれば子どもを勝たせてあげます。子どもが「得意な気分」や英語学習に対して「前向きな気分」になって、英語学習を終えることが大切です。

後で子どもと話し合いをして、どこが難しかったのかを聞き、次回に自分がしてあげられることを考えてみましょう。例えば、新しい教材の量や、教材の使い方などをできます。また、そのあと何回かの学習時には、以前使った比較的簡単な教材を使い、子どもに自信を取り戻させてあげましょう。

英語コーナー

英語コーナーは、英語学習に関するものを飾ったり、集めておいたりする場所です。

- ゲーム
- 絵本
- 絵や国旗など英語文化に関するもの
- 絵、自分で作った本や工作

などを集めて、飾っておきます。



アクティビティのアイデア

図画工作は目的を持って作業できるので、とても良いアクティビティです。

● 家族の誕生日や祝い事

誕生日カードを作るのは、楽しいアクティビティです。また誕生日や家族のお祝い事は、学習の結果を披露したり(発表会)、家族や英語を話す友達とゲームをしたりするよい機会です。

● 写真のコラージュ

写真を切り抜いて、テーマごとに組み合わせます。例えば、テーマは「青いもの」、「お休みの日に行きたい場所」、「誕生日プレゼントに欲しいもの」、やスポーツ、お天気などから選びます。

組み合わせたコラージュに、子どもが自分の絵や写真に写っている家族の絵を追加できるようにして、変化をつけるのもよいでしょう。

● 簡単な紙人形

子どもが恥ずかしかって英語を話さない場合は、紙人形を使ってお話しするようにします。紙を卵型に切り抜き、セロテープで棒をくっつけるだけで、簡単な紙人形の出来上がり。紙人形を動かして、「僕は〇〇といいます。6歳です」など話しかけましょう。さらにこれを展開させて、招待券やプログラム、チケットなどを用意して、人形芝居ができるようになるとういすね。

家族とのアクティビティ

家族と一緒に何かをするとき、例えば、旅行の荷物の準備や、英語の料理本を見ながら典型的なイギリス料理を作る際に英語で話しかけると、子どもは英語で話さなくちゃ、という気持ちになります。ビスケットを焼いて、その上にいろいろなデコレーションで飾り付けをするなどしてみましょう。



童謡と歌

韻を踏んだ短い童謡を英語でrhyme(ライム)と呼びますが、多くの文化において、こうした童謡が存在します。サポートを受け、励まされれば、幼い子どもたちの多くは、童謡を理解することができますし、口ずさむのを楽しんでいるようです。

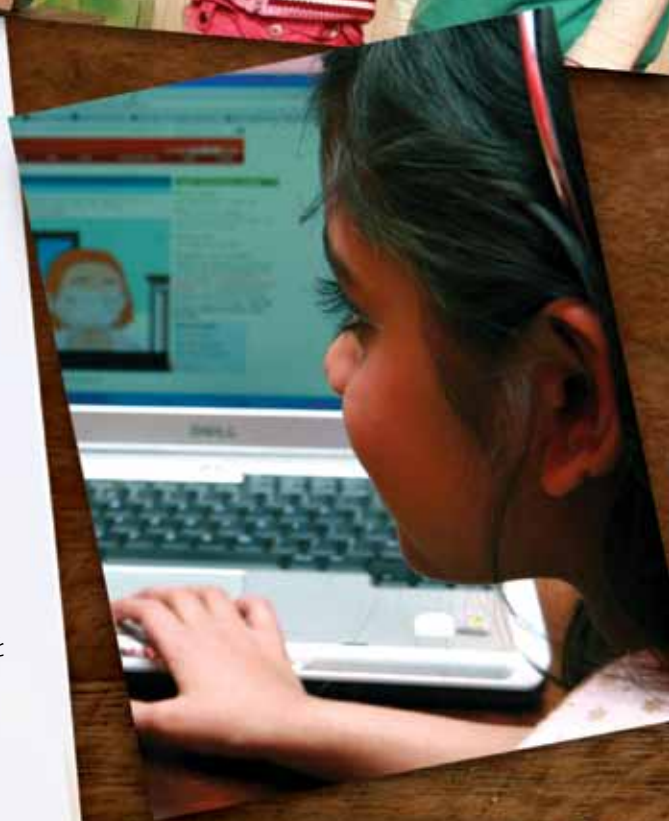
詳しくは、ブリティッシュ・カウンシルのブックレット「童謡の読み聞かせで英語を学ぶ」をご覧ください。[Learn English Kidsウェブサイト](#)のparentsのページから、ブックレットをダウンロード出来ます。また、このサイトで童謡を聞くこともできます。

英語学習の際には、次のような童謡の使い方が考えられます。

- 頭のウォーミングアップとして、以前に学習した童謡をいくつかうたいたいです。
- ウォーミングアップができたと感じたら、新しい童謡に移ります。最初はきちんと説明しながらうたいたい、それからもう一度通してうたいたいです。
- 次回の学習時間の際には、前回の新しい童謡をうたってみせ、子どもが大丈夫そうであれば、子どもにも参加させましょう。いくつかの単語やフレーズだけをうたわせてもよいでしょう。
- それ以降何回かは、子どもに童謡を自分でうたえるという自信をつけてあげましょう。この過程はゆっくりで構いません。順番としては、
 - 最後の単語
 - 最後のフレーズ
 - 一行分すべて
 - 次の行

を徐々に、うたわせてみましょう。これを続けると、少し助けてあげるだけで、子どもが一人で童謡をうたえるようになります。

- 童謡の学習時間の終わりには、お気に入りの有名な童謡をうたって締めくくります。



F



童謡カード

学習の初期段階では、覚えた童謡のカードを作るとよいでしょう。カードに童謡を書いたり、プリントアウトしたりします。子どもに、そのカードを自由に飾り付けさせ、英語コーナーにしまっておきます。遊びの最中に童謡をうたいたくなったら、子どもが自分でカードを取り出して見ることができるようにしておきましょう。

童謡ブック

童謡カードが5、6枚たまったら、カードをコピーして童謡ブックを作ってあげます。童謡ブックなら、持ち運びも簡単ですし、車や学校、ベッドの中に持ち込んだり、友達に見せたりすることができます。

歌

英語学習の際には、新しい歌をどんどん取入れましょう。CDやMP3プレーヤーを使って、一緒に歌える歌の数を増やしていきます。

[Learn English Kids](#) ウェブサイトでは、こうした英語の歌が紹介されています。

昔からある歌の多くは、自分たちの身近な環境に合うように歌詞を変えて歌うことができます。子どもがメロディを覚えてしまえば、歌詞を変えることは簡単です。「If you're happy and you know it (幸せなら手をたたこう)」は、「if you're hungry and you know it, eat an apple (お腹すいたならりんご食べよう)」や「if you're dirty and you know it, wash your hands (汚れたなら手を洗おう)」などに変えることができます。このように歌詞を変えると、同じことを毎日繰り返しても、飽きずにすむでしょう。

歌による学習を盛り上げるために、少し工夫を凝らしてみましょう。

ABCソング (きらきら星のメロディで)

1. 大文字アルファベットのカードを26枚と、小文字アルファベットのカードを26枚作ります。
2. 歌う前に、小文字カードを、アルファベットが書いてある側を上にして、テーブルに広げます。
3. 一度、ABCソングを通して歌ってあげます。二度目には、アルファベットが出てくるたびに、子どもと順番交代で、そのアルファベットのカードをテーブルから探しあてます。
4. その後、大文字カードでも同じようにします。最後に、両方のカードをすべて広げ、一度に大文字と小文字のカードを探すようにしましょう。

H



本の読み聞かせ

子どもに読み聞かせる本は、文章が少なめで、読んでいて面白いものを選びましょう。

詳しくは、ブリティッシュ・カウンシルのブックレット「絵本の読み聞かせで英語を学ぶ」をご覧ください。[Learn English Kids](#)ウェブサイトのparentsのページから、ブックレットをダウンロード出来ます。

本を選ぶ

本を選ぶときは、頭の中で次のことを考えてみてください。

- 文章は短い（見開きで5、6ページ程度）か？ もしこれよりも多ければ、一回の学習時間では読み切れません。
- 印刷状態はよいか？
- イラストは面白く、理解しやすいものか？
- 文章中に覚えやすい繰り返し句などが入っているか、折り込み部分などがついているか？
- 自分で面白い本だと思うか、そしてその面白さを子どもに伝えることができるか？

物語のキャラクターが出てくるDVDを探しましょう。このようなDVDは便利ですが、最初に子どもと一緒に鑑賞し、体験を共有できるとより効果的です。





声に出して読む

- 学習の前に、絵本を声に出して読む練習をしておきましょう。また、お話を生き生きと描写できるような読み方を考えておきましょう。
- 本を読み聞かせる前に、新しい単語をいくつか教えましょう。
- 最初に新しい本を読み聞かせるときは、子どもがまだ知らない単語や絵から推測することができない言葉を、翻訳してあげられるように準備しておきましょう。翻訳は小さな声でそつとやってあげましょう。
- 必要があれば、単語を指さしながら読みましょう。そうすれば、子どもは単語の形を見ることに慣れていきます。
- 毎回、同じような読み方で本を読み聞かせましょう。この方が、英語を理解しやすくなります。
- 自分が気に入らない本は避けましょう。子どもはすぐに親の気持ちや態度を読み取ってしまいます。
- 一つのお話慣れてきたら、ポーズをとって子どもを促し、最後のフレーズや文章と一緒に読ませてみましょう。
- 本についてあまりにも多く質問をしすぎてはいけません。本の魔法がとけてしまいます。

自分たちで物語本を作る

何冊も本を読み聞かせたら、自分たちで物語本を作るのもよいでしょう。

1. 紙をホッチキスなどで綴じて、小さな白紙の本を作ります。
2. テーマ、キャラクター、場所など、内容を子どもと一緒に考えます。必ず子どものアイデアを取り入れた本にすることが重要です。
3. 子どもに絵を描いてもらい、お話を作ってもらいます。もしまだ文字を書くことに自信がないなら、親が文章を書いてあげても構いません。
4. 出来た本はまとめておき、一緒に読んで楽しみましょう。



ゲームで遊ぶ

ゲームを取り入れると、英語学習は楽しく魅力的なものとなり、子どもの全体的な学習と成長が促されます。

英語学習は難しいと思っている子どもたちでさえ、ゲームであれば勝つことができるので、積極的になってくれます。他の英語学習とは違い、ゲームの中では、英語のスピーキング力によって勝負が決まるわけではないからです。

ゲームの種類

ゲームは大体、次のようなものがあげられます。

- **スタート・ゲーム** - リーダーやオニを選ぶための、短いゲームです。
- **動きのあるゲーム** - 広い場所で動いて遊ぶゲームです。
- **カードゲーム**
- **ボードゲーム**

スタート・ゲーム

スタート・ゲームはすぐに始められ、すぐに勝敗が決まるゲームです。準備するものは何もいらないことが多く、どんな場所でもゲームをすることができます。童謡を使ったゲームなどは発音練習になり、滑らかさが身につくのでよいでしょう。

童謡を使ったスタート・ゲーム

二人が向かい合って、または何人かで円陣を組んで立ち、一人ずつ順番にカウントを数えます。一カウントにつき、一つの単語を言います。最後の単語に当たった子どもが勝ちです。

*Red, white and blue.
All out but YOU!*





また、円陣の端からカウントを始め、一カウントにつき、一つの単語を言います。最後の単語に当たった子どもは円陣を抜け、その隣の子どもからまた、カウントを新しく始めます。最後に残った子どもが勝ちです。

Acker backer soda cracker

Acker backer boo!

Acker backer soda cracker

Out goes you!

アルファベットを使ったスタート・ゲーム

二人が向かい合って、または何人かで円陣を組んで立ち、一人ずつ順番にカウントを数えます。一カウントにつき、一つの言葉を言います。

A E I O U You!

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R

S T U You are it.

動きのあるゲーム

「Simon says (サイモン・セイズ)」ゲーム

子どもたちが顔のパーツの名称を覚えているのを確認してから、ゲームを始めましょう。後には、体のパーツもやりましょう。親がサイモン役となり、命令を出します。子どもはこれを聞いて、「サイモンが言う (Simon says)」通りに、命令を実行します。

1. 親が、「Simon says touch your nose. (サイモンの命令です、鼻に触って)」と言うと、子どもは自分の鼻を触ります。
2. 親が、「Simon says don't touch your mouth. (サイモンの命令です。口に触らないで)」と言うと、子どもは口を触らずにじっとします。
3. もし子どもが間違っただけで口を触ったら、3点満点中、1点が減点されます。
4. 3点すべて減点となると負けで、ゲーム終了です。



「Where's the bear? (熊探し)」ゲーム

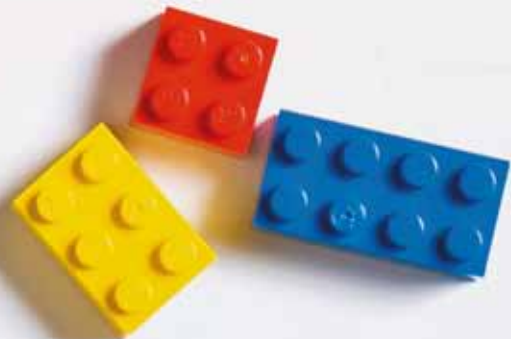
テディベアのような柔らかいぬいぐるみを使います。子どもが「on」、「in」、「behind」の単語を理解できるようになり、家具の名前を覚えてから、このゲームをします。

1. 子どもの目を閉じさせ、一緒に5または10カウントを取ります。その間に、ぬいぐるみを椅子の下に隠します。
2. カウントの後、「Open your eyes. Where's the bear?(目を開けていいよ。熊はどこかな?)」と問いかけます。
3. 子どもがぬいぐるみを探している間、「on」、「in」、「behind」や、部屋にある家具の名前を使って、子どもに話しかけます。
4. ぬいぐるみが見つかったら、隠し役と探し役を交代します。

アウトドアゲーム

「Farmer, farmer, can I cross the water? (おじさん、川を渡ってもいい?)」ゲーム

1. 「おじさん」役は、川(仮想の川、道など)の向こう岸に立ちます。残りのプレイヤーは川のこちら側に残り、おじさん役に向かって「Farmer, farmer, can I cross the water?」と聞きます。
2. おじさん役は、「Yes, if you have got something yellow. (黄色の服を着ている人だけ渡ってもいいよ)」と答えます。
3. 黄色の服を着ているプレイヤーは、「Yes, I have got something yellow. (黄色の服着てるよ)」と返答し、川を歩いて渡ります。
4. 黄色の服を着ていないプレイヤーは、捕まらないように逃げ、おじさん役は追いかけます。
5. 捕まったプレイヤーは負けです。残りのプレイヤーがおじさん役に捕まるまで、見ながら待ちます。
6. 次のゲームでは、おじさん役は別の色を指定します。
7. そうして全員が捕まったら、おじさん役が次のオニ(おじさん役)を選び、ゲーム再開です。





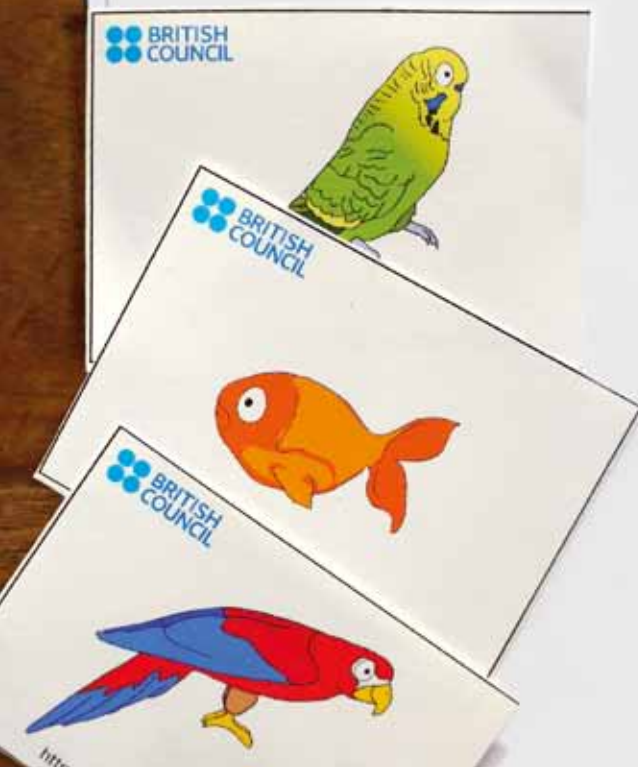
「What's the time Mr Wolf? (オオカミさん、今何時)」ゲーム

1. オオカミさん役は、自分の家の中(仮想の家、建物の角など)に立ちます。
2. そのほかのプレーヤーは羊役で、オオカミさんの家に少し近づき、「What's the time Mr Wolf?」と尋ねます。
3. オオカミさん役は「One o'clock. (一時だよ)」と答えます。
4. 羊役はもう少しオオカミさんの家に近づき、もう一度「What's the time Mr Wolf?」と尋ねます。
5. オオカミさん役は「Two o'clock. (二時だよ)」と答えます。
6. これを何回か繰り返し、羊役がかなり家の近くまできたら、オオカミさん役は、「dinner time (夕ご飯の時間)」と叫んで、羊役を追いかけて捕まえます。
7. このとき捕まった羊役のプレーヤーは、次のターンではオオカミさんの家で待機です。

カードゲーム

自分でカードを作ってもよいでしょう。

また、[LearnEnglish Kids ウェブサイト](http://www.learnenglishkids.com)から、絵札をダウンロードできます。



「I went on Safari (サファリに行ったら)」ゲーム

12枚のカードを作り、それぞれにアフリカのサファリにいそうな動物などを描きます。

1. カードを裏返しにして重ねておきます。まず一人が「I went on Safari and I saw ... (サファリに行ったら...)」と言い、ここでカードを一枚めくりみます。カードの表に描いてある動物を見て、「an elephant (象を見たよ)」と言います。
2. 使ったカードは裏返しにして、残りのカードとは別に重ねていきます。
3. 次のプレーヤーは「I went on Safari and I saw an elephant and ... (サファリに行ったら象を見たよ。それから...)」と言い、また一枚カードをめくりみます。カードにある動物を見て「a parrot (オウムを見たよ)」と言います。
4. その次のプレーヤーも同じようにカードを一枚めくり、新しい動物の名前をどんどん継ぎ足していきます。
5. 全部の動物の名前を思い出せなかったら、そのプレーヤーは負けです。
6. 12種類の動物がすべて言い終わったら、もう一度最初からゲームを始めます。負けたプレーヤーもここから参加できます。

記憶ゲーム

12種類の絵札を2枚ずつセットで作ります。トランプのように裏からみると全く同じカードに見えるように作りましょう。合計24枚の絵札を裏返して、平らな場所に広げます。

1. 最初のプレーヤーは一枚カードをめくり、「a bus (バスが一台)」と言います。そして二枚目のカードをめくります。
2. もし同じ絵札が出たら、「a bus, two buses (バスが一台、バスが二台)」と言い、二枚の絵札を自分のものにできます。
3. 違う絵札が出たら、二枚とも裏返して元の場所に戻します。
4. 同じ絵が描いてあるカードを二枚見つけるゲームです
5. 全部の絵札がなくなったら、手持ちのカード枚数を数えます。多いプレーヤーが勝ちです。
6. 子どもが12種類以上のものの名前とその複数形を覚えたら、絵札の種類を増やしていきましょう。
7. また、絵札のテーマを変えてもよいでしょう。例えば、洋服にテーマを絞り、「a pair of socks (一足の靴下)」「a red T-shirt (赤いTシャツ)」などの絵札を作ります。

ボードゲーム

ボードゲームには、「snakes and ladders (すごろくゲーム:サイコロを振り、出た数だけすごろく盤を進んでいく。へびの所で止まると後戻り、はしごの所で止まると近道ができる。早くゴールに着いたら勝ち)」や「ludo (ルードー:盤上でサイコロと点数棒を使ってするゲーム)」などがあり、たくさん英語を使って遊べます。子どもの英語力とニーズに応じて、ゲームを選ぶとよいでしょう。

このブックレットのヒントがお役に立てれば幸いです。
子どもと一緒にわくわくしながら英語学習を続けることができるように祈っています。





<http://learnenglishkids.britishcouncil.org/parents>

このブックレット・シリーズは親たちをサポートするためにブリティッシュ・カウンシルが製作しました。

- 異言語としての英語学習法
- 子どもと一緒に英語で話す
- 絵本の読み聞かせで英語を学ぶ
- 童謡と詩の読み聞かせで英語を学ぶ
- 英語学習に役立つヒント

本ブックレットは、DVD版もご用意しております。

Opal Dunn 著 (作家・教育コンサルタント/英国)

デザイン・制作: The Burst Proof Bubble Limited, Manchester, UK

© British Council 2010

ブリティッシュ・カウンシルは英国の公的な国際文化交流機関です。

公益団体番号: 209131 (イングランド、ウェールズ)、SC037733 (スコットランド)